

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都品川区西五反田 4-13-161F
園名	GG International School 不動前校

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

当校は、毎年音楽発表会や冬の発表会を既に行っているため、さらに音に対する興味や理解を深める良い機会のため。

2. 活動スケジュール

すくわくのテーマに沿った音にフォーカスした音楽のレッスンを週一回

(基本**火曜日**だが他の活動との兼ね合いで随時変更)

※上記の専用の時間以外にも、毎日の活動の中でも意識的に取り入れるよう、担任の先生と調整した

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定 (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ベル、マラカス、ドレミパイプといった、それぞれ異なる素材・鳴り方・音階を持つ楽器を用意し、自由に触れて音の違いを比較できる環境を設定した。また、パラシュートを使って体全体で「音 (リズムや強弱)」を視覚的・体感的に捉えられるよう、音楽に合わせて複数人で自由に動ける広いプレイスペースを確保した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1. 問いを考える

楽器ってどんな種類があるの？

楽器ってどんな音がするの？ 壊れやすい？

音階ってなに？

音に合った動きを探してみよう

周りの音ってどんな物がある？

2. 環境をデザインする

ピアノ、ドラム、打楽器、ベル、パラシュートなどを使って、音を探求する

3. 探究活動を実践し、記録する】

4. ピアノ、ドラムなど準備した様々な「環境」の中で、音の変化を体感する。それぞれの楽器を使っ

楽しんで様子を、写真で記録する。

5. 振り返る・共有する

- ・週次 Weekly ミーティングで状況や学びについて職員間で共有
- ・連絡帳アプリ CODMON を通して、保護者へ学びや気付きについて共有
- ・レスンプラン MTG で次回のレッスンを検討するための振り返り

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

ドレミパイプの探究：長さによって音が違うことに気づき、「こっちの長い方が低い音がする！」「床を叩くのと、壁を叩くので音が違う」と、自ら叩く場所や長さを変えて音の違いを試行錯誤する姿が見られた。



パラシュートでの協働：音楽のテンポや強弱に合わせて、「今はゆっくりだね」「もっと早く（大きく）揺らしてみよう！」と子供同士で声を掛け合いながら、音の波をパラシュートの動きで表現し、体全体で音との連動を楽しんでいた。



音のイメージ化：マラカス、ベル、を鳴らしながら「雨の音がする」「風みたい」など、身近な自然の音に見立てる発言があった。保育者が「本当だね、他にはどんな音が隠れているかな？」と問いかけることで、子供たちはさらに想像を膨らませて様々な鳴らし方を試していた。



5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- 初めはただ楽器を鳴らすことを楽しんでいた子供たちが、活動を重ねるにつれて「どうすれば違う音が出るか」「友達の音と合わせるとどうなるか」という自発的な探究心を持つように変化していく過程が見られた。
- ドレミパイプやパラシュートを取り入れたことで、座って楽器を演奏するだけでは得られない「音の可視化」や「音との一体感」を体全体で感じさせることができた。
- 週 1 回のレッスンだけでなく、日々の外遊びや食事中などでも、子供たちが自ら日常の中にある「音」を探す姿が増えた。特別な時間の活動が、日常の探究活動へとシームレスに繋がっていることを実感した。